

カンボジア便り

明けましておめでとう！～カンボジアの新年～

4月13日～16日、カンボジアの新年を迎えるお祭りがありました。カンボジアには、日本の1月1日に迎える新年、中国の旧暦の正月に合わせた2月の新年、そして4月のクメール歴に合わせた新年の3回、お正月があります。「ソクラン」という名前のイベントが各学校、各地区の広場で行われ、通りすぎる人たちの顔にベビーパウダーを塗り、水を掛けあいます。全く知らない人の顔を触ったり、水を掛けたりするなんて日本では考えられないことでしょう。これは、塗る相手に「幸せが訪れますように」という願いを込めているので、良いことなのです。

沢山の人が集まっています！何故か泡も出てる。



学校前の通りに放水車が登場！まるで大雨に打たれているようでした。



ここはイベント会場ですが、この時期は街中を自転車で普通に移動しているだけでも、車の荷台に乗った人から通りすがりに水を掛けられます。(やられました。)

カンボジアの“当たり前”

バタンバンにいる、もう一人の隊員が毎日お世話になっているトゥクトゥク（タクシーのような乗り物）の運転手さんが、よくお出かけに誘ってくれます。

川に遊びに行く予定とのこと。その前にお家でご飯を頂くことに。以前も紹介しましたが、カンボジアの人は「ご飯を食べること」をすごく大事にしています。今回は、なんとお家で飼っている鶏をその場で捕まえ、捌いて料理にしてくれました。町中では見ませんが、郊外に出るとどの家も鶏を飼っています。



皮が黒い鶏肉。



カンボジアの子も普段触らない子は怖がります。

庭で走り回っている鶏を捕まえるところからスタートして、血を抜いて、丁寧に羽を取って、と全て自分たちで行います。途中も写真を撮ったのですが、少し刺激が強いのでここには載せません。しかし、食べるまでにこういう過程が必要で、誰かがそれをしているんだよな、と改めて気づきました。そして、食べ物すべてに感謝する「いただきます」という言葉はぴったりの言葉だな、と思いました。

川遊びの名所。川の上にコテージが。



一軒の家にもいくつもあるハンモック。外の方が風があり涼しいので皆外で休みます。

